

商 千葉商科大学同窓会

■ 難局を乗り越えよう！



同窓会会長
勝田 啓示

今年新型コロナウイルスの感染拡大で令和最初の卒業生・保護者の方々には学位記授与式・卒業祝賀会が、そして心新たに希望に満ちた大学生活を心待ちにしていた新入生・保護者の方々には入学式が、それぞれ中止となり何とも残念であったと思う。

同窓会は今年11月に創立50周年を迎える。コロナの影響で各支部の定期総会、支部長会、交流会が自粛を余儀なくされ、記念総会も開催の見通しが立たない状況である。

大学はオンライン授業、入構制限を行い、社会全体の経済状況の悪化により学生全体のサポートをはじめている。同窓会も未来の同窓会正会員となる全学生の支援をできればと思っている。

コロナの一日も早い終息を祈り、いつもの明るいキャンパスが戻ってくることを願っている。大学・同窓会・教育後援会(保護会)・CUC経営者会議が一体となり、この難局を乗り越えたいものである。

千葉商科大学同窓会ニューズレターは同窓会情報誌「きずな」のダイジェスト版であります。「きずな」本誌は年会費納入者に年3回、お届けし、大学の最新情報、同窓会の活動状況を皆様にお伝えしております。母校愛が蘇ってまいります。

お申込み・問い合わせは、同窓会事務局およびWebサイトにて承っております。

☆ご意見、ご要望を
お聞かせください☆

[TEL&FAX]
047-371-2665
[E-mail]
salon@all-cuc.org

同窓会ニューズレターや「きずな」の紹介記事、イベント、連絡事項は同窓会Webサイトに掲載されています。

[同窓会 Web サイト]
<http://www.all-cuc.org/>

[Facebook ページ]
ID : cuc.kizuna

[発行者]
千葉商科大学同窓会
広報・IT委員会
〒272-8512
千葉県市川市国府台 1-3-1



■ 同窓会事業計画の主な推進状況

- | | |
|------|--|
| 重点目標 | ○維持会費納入促進 「1・1作戦」の徹底
(1人一名を紹介する) |
| 推進事項 | ○第51期予算編成
○創立50周年記念事業
* 創立50執念記念誌作成準備
* ロゴデザイン(ロゴマーク)の完成
○会則、選挙管理規程見直し案
* 第50期定期総会にて承認
* 役員改選
○学生支援(コロナ感染拡大による)募金の検討
○九州地区、関西地区支部設立・同期会設立フォロー
大分県支部設立(10月7日)
○各支部定期総会、支部長会、交流会自粛 |

同窓会創立50周年 (2020年(令和2年)11月)

躍進する母校に誇りを持ち、同窓会の伝統と歴史を祝い喜び合おう！

同窓会
ロゴマーク完成!!



千葉商科大学同窓会

シンボルマークのもとに益々の発展を目指そう

同窓会本部からの報告

◇同窓会情報

1. 「同窓会専用ロゴデザイン決定」

同窓会創立 50 周年を迎えるにあたり同窓会独自の後世に残るロゴデザインを募集いたしました。ロゴマークが決定しました。このシンボルマークのもとに益々の発展を目指しましょう。(表面参照)。

2. 「卒業祝賀会の中止」

令和 2 年 3 月 20 日、学位記授与式の後、大学・同窓会・保護者会(教育後援会)共催で 1 号館にて卒業祝賀会を開催予定でありましたが、コロナ感染拡大の影響により誠に残念ながら中止となった。パンフレットにより新卒業生の門出を祝い同窓会の良さを説き共に同窓会活動することを呼びかけた。

3. 「学生支援について」

未来の同窓会正会員となる全学生の経済的支援の検討を行う。

4. 「きずな裏表紙の広告掲載のお願い」

「きずな」の裏表紙に卒業生の企業広告を募集しております。詳細は広報・IT委員会まで。

◇大学情報

1. コロナ感染拡大の影響

新入生のオンライン授業の実施、全学生の経済的支援
学生・一般の方の入構制限令

◇維持会費納入のお願い

同窓会は「1・1 作戦」(表面参照)を展開し基盤強化のため維持会費の納入促進を図っております。ご協力賜りますようお願い申し上げます。
(「きずな」本誌年 3 回送付) (同窓会正副会長・財政委員会)

◇編集後記

本誌は「きずな」ダイジェスト版として正会員向けに発行している Newaletter です。きずな本誌には事業計画・決算報告・同窓会の活動状況・大学情報・保護者会情報等すべて網羅されております。是非ご覧いただきたく存じます。「きずな 34 号」は 10 月下旬発刊予定です。ご期待ください。
(広報・IT 委員会)

第 51 期事業計画に係わる基本方針

自 令和 2 年 10 月 1 日 至 令和 3 年 9 月 30 日

同窓会創立 50 周年 (令和 2 年 11 月)

I 基本目標

基盤強化

1 維持会費納入促進

「1・1 作戦」の実施 - 継続

2 本部・支部の連携

3 大学・保護会との連携強化

* 学生支援募金の実施

* 現役学生の接点作り

II 事業計画

活力ある同窓会活動の推進

1 本部定期総会(書面総会)の開催

卒業祝賀会・交流会、趣味の会等の実施

2 創立 50 周年記念事業実施

* 記念誌の発行

3 新役員体制による活動

4 支部、同期会、その他瑞穂会設立の推進

5 無駄の排除

第 50 期収支計算見込

第 50 期 収支計算書

(決算見込書)

自 令和元年 10 月 1 日 至 令和 2 年 9 月 30 日

(単位: 千円)

学生会員収入	15,420
華甲会費収入	220
維持会費収入	3,585
総会費収入	632
寄付金収入	201
受取利息収入	563
前年度繰越金	12,049
収入の部合計	32,670
定期総会等会議費	690
人件費	1,714
印刷費	2,268
通信費	2,465
消耗品費	79
賃借料	91
旅費交通費	1,464
振興助成費	1,856
支部長会助成費	200
団体活動助成費	550
事務電算委託費	414
学生援助費	2,100
学生会員記念品費	91
雑費	376
新会員歓迎費	0
同窓会基金へ繰入	2,000
50 周年等費用	2,000
預り金	424
次年度繰越金	13,888
支出の部合計	32,670